

平成24年度 12月補正予算案の概要

京 都 府



補正予算の内容

補正のポイント

厳しい経済・雇用情勢を踏まえ、
中小企業支援を中心に経済雇用対策を実施

- 年末・年度末の中小企業応援対策
- 新卒未就職者支援対策
- 防災基盤の整備促進(国経済対策関連)

経済・雇用対策



経済対策

○景気悪化に対する中小企業等へのセーフティネットの拡充

◆府が中小企業を対象に実施した景気動向等調査結果
景況「悪い」73.3%（今後の景況「悪化する」50.4%）

中小企業経営応援事業費

100百万円

◆需要拡大の取組を支援

- ・商店街等が行う特別大売り出し等への支援
- ・専門家による経営相談の実施

【 補助率1/2・2/3以内 : 補助上限額30万円 】

中小企業緊急負担軽減事業費

100百万円

◆固定費等のコストダウンにつながる設備投資を支援

- ・電気代等の削減や事務の効率化につながる設備
- ・販売や製造現場の効率化につながる設備 等

【 補助率1/2以内 : 補助額30~100万円 】



経済対策

中小企業緊急経営あんてい融資

2,000百万円

◆既存の融資制度も含め 200億円 の融資枠を追加

年末・年度末経営相談事業費

1百万円

◆金融、経営改革、技術支援等の緊急相談会を開催（府内5カ所）

緊急求人開拓事業費

4百万円

◆雇用情勢の悪化を食い止めるため、来年1月から3月を求人開拓強化月間に設定し、6,000人 の求人を開拓

【府有効求人倍率 0.82倍 (H24.9)

→ 前月から0.01ポイント悪化、悪化は H23.5 以来】



雇用対策

4百万円
〔債務負担行為〕
45百万円

新卒者福祉職チャレンジ事業費

◆厳しい雇用情勢が続く大学新卒者等向けに、介護・福祉サービス部門への就職に繋がる就職支援プログラムを実施

人材確保

○学校訪問による介護・福祉サービスへの就職希望者の掘り起こし
〔対象者：府内大学等新卒及び既卒5年以内の未就職者20名程度〕

雇用研修

○就職希望者を雇用し、約4ヶ月間の研修を実施
→この間新卒者が就職を希望する事業所を開拓、マッチング
〔研修内容：資格取得研修、OJT・スキルアップ研修等〕

定着支援

○就職後もアフタフォローにより、職場定着を支援



雇用対策

7百万円
〔債務負担行為〕
142百万円

新卒未就職者サポート事業費

◆高校・大学新卒者の、求人・内定状況を勘案し、新卒未就職者への支援を万全の体制で準備

高校新卒未就職者向け

対象者：府内高校新卒未就職者(H25.3卒) 50名程度
雇用先：京都府高校生緊急就職支援センター
期 間：H25.3下旬～H25.7下旬(約4ヶ月)
内 容：職業観形成、サポーター企業における実践研修等

大学新卒未就職者向け

対象者：府内大学等新卒及び既卒3年以内の未就職者
60名程度
雇用先：京都未来を担う人づくりサポートセンター
期 間：H25.3下旬～H25.7下旬(約4ヶ月)
内 容：サポーター企業における実践研修、定着支援等



防災基盤整備促進

防災基盤整備推進事業費

1,389百万円

国の経済対策等を活用し、防災基盤整備を促進

◆河川・砂防（堤防浸透対策、砂防堰堤設置）

【主な箇所】 桂川:南丹市（堤防浸透対策） 宮川:舞鶴市（砂防堰堤）

◆道路（法面保護、橋りょう長寿命化）

【主な箇所】 網野岩滝線:京丹後市（法面保護）
盛郷大橋（国道162号）:南丹市（橋りょう長寿命化）

◆治山・農地防災（治山ダム設置、排水路整備等）

【主な箇所】 八幡高坊地内:八幡市（治山ダム） 巨椋池（排水路整備）

天井川安全確保対策事業費

350百万円

◆弥陀次郎川の改修工事延長を追加

約70m（9月） → 約300m（今回）



補正予算の規模

一般会計 3,955百万円

12月補正後予算額 904,404百万円

〔 参 考 : 23年12月補正後 929,090百万円 〕